日本内科学会より　2016年6月20日

- 日本内科学会としては平成29年度からの新専門医制度の開始を希望する。
- 新専門医制度が開始できるという見通しが得られない場合は、７月末を目処に、平成29年度に関しては日本内科学会の現制度を継続する判断を行う。

**慶應義塾大学内科学教室**では

- 次の二通りの方針で、
  **後期研修できる体制をしっかりと整えております。**

# 【慶應内科後期研修の方針】

## ① 新内科専門医制度開始となった場合 ⇒ “新制度”と表現します

- 新内科専門医制度は、全国一律、医師３年目、４年目は
内科全科をローテートするコースとされます。

- **慶應の新プログラム**は、新制度に柔軟に対応でき、かつ
**慶應の今までのよい伝統を引き継ぐ形**での、
**医師３年目の１年間、慶應での全科ローテートのコース**
を用意しています。
**医師４年目、５年目は連携病院での研修を予定**しています。
**今までの「内科全科ローテートコース」に非常に近いコース**です。

## ② 新専門医制度が開始されない場合 ⇒ “旧制度”と表現します

- 今年度も実施されている、
**「内科全科ローテートコース」、「専門医早期選択コース」**を
来年度も継続する方針です。**先輩と同じです。**

新制度

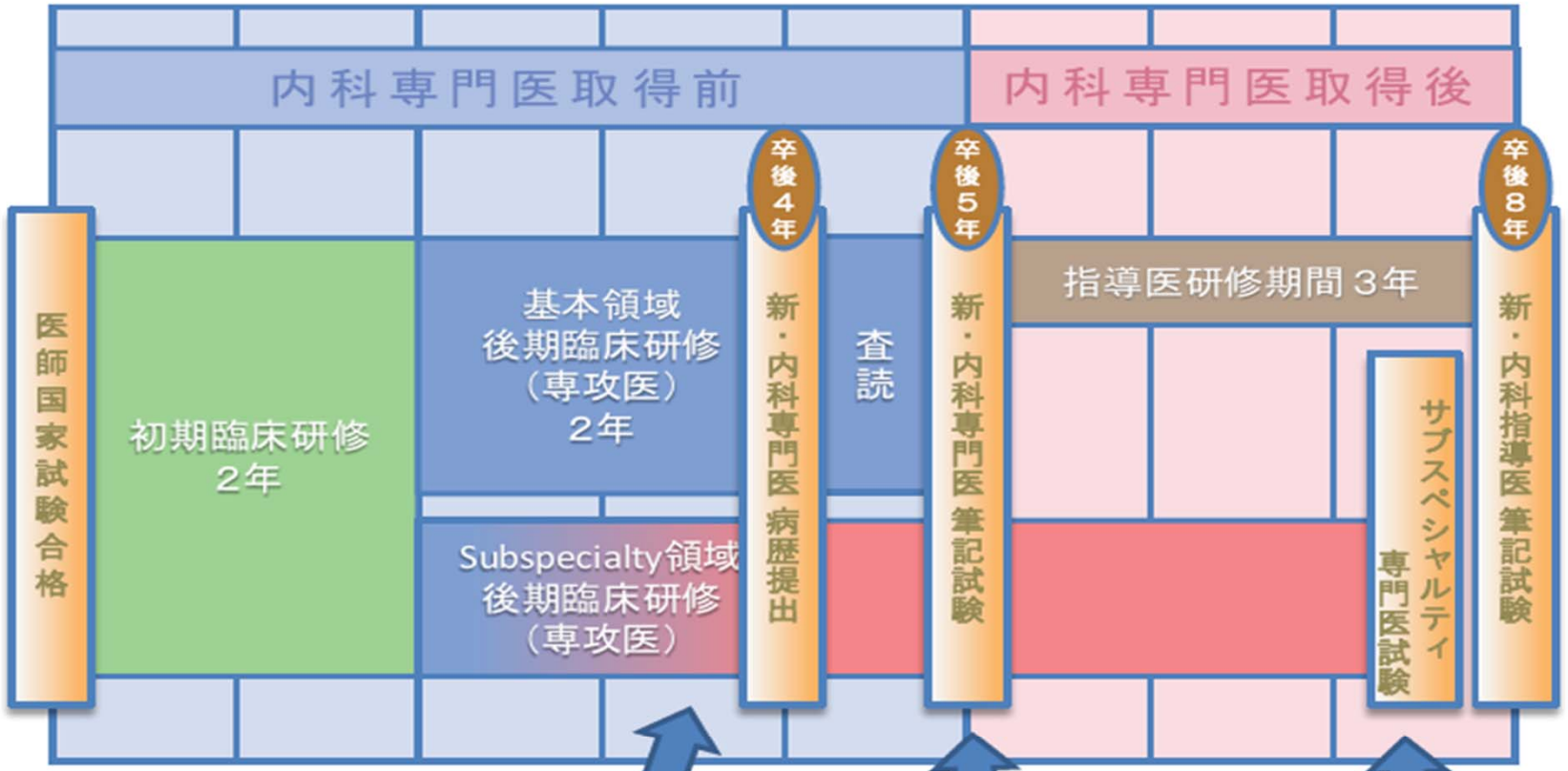
# 【慶應内科後期研修の方針】

## ①　新内科専門医制度開始となった場合

⇒ “**新制度**”と表現します

# 新内科専門医制度の受験資格

新制度




サブ領域研修は内科研修として3年間のうち任意の12か月可能

サブ領域研修開始は内科終了後

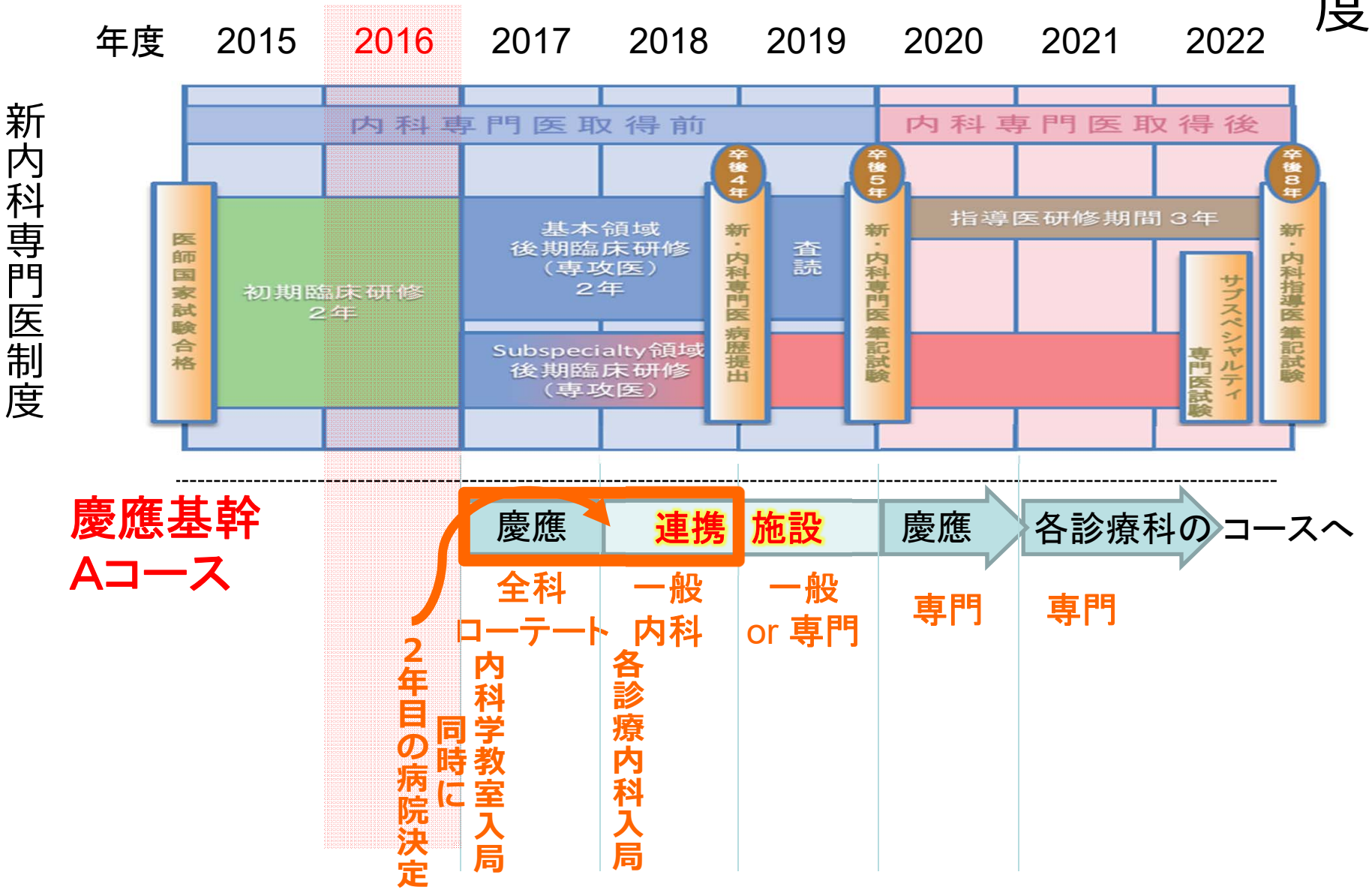
サブ領域専門医は2年間のコースも設定可能

# 慶應専修医システムのまとめ 新制度用

新制度

現在D2の先生

新内科専門医制度



# 慶應専修医コースシステム　― 新制度 ―　解説

新
制
度

新内科専門医制度に対応します。

慶應基幹プログラムは以下のコースが存在します。

Aコース（D3慶應、D4連携、D5連携）

**入局時期**

内科学教室へ入局　：　D3開始と同時に

**各診療内科へ入局　：　D4開始と同時に（原則として）**

**D4 D5連携施設病院先の決定時期　⇒　2回に分けて決定します。**

**4年目の研修先　　：　D3開始前年度内に決定**します。

これにより、Ｄ３開始時にはＤ３、Ｄ４の２年間の進路が決定します。

**D4 連携施設病院**

| | |
|---|---|
| **済生会中央病院** | **横浜市立市民病院** |
| **東京医療センター** | **さいたま市立病院** |
| **川崎市立川崎病院** | **東京歯科大学市川総合病院** |
| **けいゆう病院** | **済生会宇都宮病院** |

旧制度

# 【慶應内科後期研修の方針】

## ②　新内科専門医制度が開始されない場合

⇒ “**旧制度**”と表現します

旧制度

# 内科全科ローテートコース

# 専門医早期選択コース

# 慶應専修医システムのまとめ 旧制度用

旧制度

## 現在D2の先生

| 年度 | 2015 | 2016 | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 | 2021 | 2022 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **全科ローテートコース** | | | 慶應 | 関連 | 関連 | 慶應 | 各診療科のコースへ | |
| | | | 全科ローテート | 一般内科 | 専門 | 専門 | 専門 | |
| | | | 内科学教室入局 | 各診療内科入局 | | | | |
| **専門医早期選択コース** | | | 関連 | 関連 | 慶應 | 各診療科の コースへ | | |
| | | | 一般内科 | 専門 | 専門 | 専門 | 専門 | |
| | | | 内科学教室入局 | 各診療内科入局 | | | | |

# 慶應専修医コースシステム　― 旧制度 ―　解説

旧制度

## 1）内科全科ローテートコース

"内科ジェネラリストを極めてから専門を磨きたい！"方にお勧めです。

専修医1年次は、慶應大学病院内科で、呼吸器・循環器・血液・リウマチ・消化器・神経・腎臓内分泌代謝の7科を1年かけてローテートします。

## 2）専門医早期選択コース

"できるだけ早く自分の専門を磨きたい！"方にお勧めです。

専修医研修開始前に7科ある専門内科（呼吸・循環器・血液・リウマチ・消化器・神経・腎臓内分泌代謝科）のうちいずれかを選択します。

各診療科教授と相談して頂き、オーダーメイドに近い研修プログラムを組めるように配慮します。

認定内科医の取得が速やかにできるように、専門医1年次は関連病院で内科全領域の臨床が中心となります。

## 慶應関連病院

**約３０病院のなかから、出向病院を決定します。**

# 内科全科ローテート/専門医早期コース

| | 内科全科ローテートコース | | 専門医早期選択コース | |
|---|---|---|---|---|
| 1年次 | 一般内科研修 | 内科7診療科をそれぞれ7～8週ずつローテーション（呼吸・循環・血液・リウマチ・消化器・神経・腎臓内分泌代謝） | 一般内科 | 選択した専門診療科教授と相談の上、関連病院を選択 |
| 2年次 | | 内科学教室教育関連病院へ出向し、当該病院のカリキュラムに沿って臨床研修 | 専門内科研修 | 専門診療科の教授の指導のもと、教育関連病院での1年以上の研修を含んだ3年間の専門医育成プログラムを行う |
| 3年次 | 専門内科研修 | 専門診療科の教授の指導のもと、教育関連病院での1年以上の研修を含んだ3年間の専門医育成プログラムを行う | | |
| 4年次 | | | | |

| | |
|---|---|
| 研修場所： | 慶應義塾大学病院 |
| | 内科学教室教育関連病院 |

**専門決定**

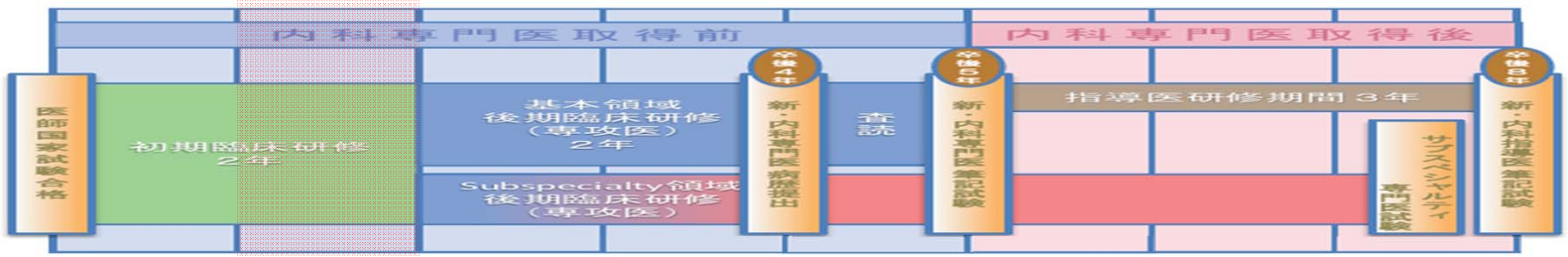
Keio University 1858 CALAMVS GLADIO FORTIOR

# 慶應専修医システムのまとめ

まとめ

**現在D2の先生**

年度　2015　2016　2017　2018　2019　2020　2021　2022




新内科専門医制度

**慶應基幹 Aコース**

慶應 → 連携施設 → 慶應 → 各診療科のコースへ

一般内科　一般 or 専門　専門　専門

---

旧制度

**全科ローテートコース**

慶應 → 関連 → 関連 → 慶應 → 各診療科のコースへ

全科ローテート　一般内科　専門　専門　専門

**慶應**

**早期選択コース**

関連 → 関連 → 慶應 → 各診療科のコースへ

一般内科　専門　専門　専門　専門

まとめ

## 慶應専修医システムのまとめ　解説

**慶應義塾大学内科学教室**では次の二通りの方針で、
**後期研修できる体制をしっかりと整えております。**

### ①　新内科専門医制度開始となった場合　⇒“新制度”

**慶應の新プログラム（Aコース）**は、新制度に柔軟に対応でき、かつ
**慶應の今までのよい伝統を引き継ぐ形**での、
**医師３年目の１年間、慶應での全科ローテートのコース**を用意しています。
**医師４年目、５年目は連携病院での研修を予定**しています。
**今までの「内科全科ローテートコース」に非常に近いコース**です。

### ②　新専門医制度が開始されない場合　⇒“旧制度”

今年度も実施されている、**「内科全科ローテートコース」、**
**「専門医早期選択コース」**を来年度も継続する方針です。**先輩と同じです。**

**⇒ どちらの体制になっても、**
**慶應の全科ローテートシステムはほとんど影響なく、**
**今まで通りの先輩が経験したシステムのもと、**
**安心して後期研修を行うことができます。**

# 後期臨床研修・各診療科オリジナルコース後は

- 慶應大学病院 にて各臨床部門のスタッフとしてさらなる専門教育をうけたり、基礎研究部門を極める！
- 関連病院 でスタッフとして配属し、臨床医としてさらに研修を積む！
- 海外 の研究機関、臨床施設へ留学する！

# 全国から集う慶應内科

## 出身大学・・・約半数は慶應以外の出身です

慶應義塾大学、北海道大学、札幌医科大学、旭川医科大学、弘前大学、岩手医科大学、秋田大学、山形大学、東北大学、福島県立医科大学、群馬大学、東京慈恵会医科大学、東京女子医科大学、北里大学、帝京大学、聖マリアンナ医科大学、杏林大学、東邦大学、山梨医科大学、新潟大学、金沢大学、金沢医科大学、信州大学、日本大学、日本医科大学、浜松医科大学、滋賀医科大学、大阪大学、近畿大学、島根大学、山口大学、産業医科大学、熊本大学、宮崎医科大学、琉球大学